

# かんがえよう とも 友だちのこと

## 1 とも 友だちとさいかい

おお 大きなじしんやつなみによって、しばらくの間、がっこう 学校のとも 友だちとあえない日がつづきました。

友だちに 会えたよ

「これから、どうなるんだろう。」  
 「あいちゃん、ぶじだったかな。今、何をしているんだろう。」  
 「早く学校に行きたいな。」  
 と、友だちや学校のことを、思いうかびました。  
 何日かして、学校に行きました。体いくかんはひなんじよでした。  
 その時です。  
 「大じょうぶだった。こわかったね。」  
 と、ひさしぶりに会ったあいちゃんが、かけよって来ました。さびしく、かなしかった心に、あかりがとりました。つないだ手から、あいちゃんのあたたかさがあったわかりました。  
 しんさいは大変だったけれど、友だちがどんなに大切かが、よく分かりました。



(女の子の作文より)

## 2 ささえてくれた友だち

ささえてくれた友だち

ひなんじよで、ぼくと同じ年のりょうくんに出会った。こんな時なのに、ぼくたちはすぐ友だちになった。

それから一しよにあそぶことが多くなった。ぼくの気もちは少しだけ明るくなった。外では、ひみつきち作りやおにごっこ。中ではゲームをした。二人でいろいろな話をしていると、つらい気もちが少しずつへっていった。毎日が楽しくなっていた。

ぼくが元気になったのは、りょうくんがいてくれたからだ。りょうくん、ありがとう。

(男の子の作文より)



たいいくかん 体育館のひなんじよでの様子



2011 (平成23) 年3月24日 上岡田公会堂 一週間おくれで行われたそつぎようしき (岡田小学校)



あなたが「友だちがいてよかった」と思うのはどんなときですか？ 考えてみましょう。